

## センター機関推進プロジェクト実施報告（平成 23 年度）

プロジェクト名: 日ネ協会旧蔵資料データベース構築

名和克郎

### （1）プロジェクト全体計画（概要・目的・意義など）

社団法人日本ネパール協会の旧蔵資料は、1950 年代から 60 年代、ネパールが近代国家に転換した最初の 20 年間に主にネパール国内で出版された、法律、統計、国王演説集等から、教育、農学、文学にいたる、ネパール語及び英語の多様な書籍・パンフレット等からなる、貴重なコレクションである。本プロジェクトは、同資料についての基本的なデータベースを作成することを、その目的とする。将来的には、ネパール関係の図書・資料に関するより一般的なデータベースへと拡充させていきたいと考えている。

### （2）今年度の進捗状況

計画の第二年度にあたる今年度は、第一に、昨年度に引き続きアルバイトを雇用し、ネパール語及び英語の資料の書誌情報を入力する作業を行った。具体的には、アルバイト 2 名を雇用し、暫定的に FileMakerPro で作成した雛形に沿って、基本的な書誌情報等を入力していく作業を進めた。ネパール語等デーヴァナーガリー文字のものについては、基本的な書誌情報について、共に Unicode を用いて、デーヴァナーガリー文字、ローマ字転写の双方を入力すると共に、固有名詞等については標準的な英語での表記も併記しつつ。資料内容が通常の図書、雑誌に加え数ページのパンフレットなど雑多な形態を含んでいるため試行錯誤を繰り返しつつの作業となったが、基礎的な書誌情報の入力及び予備的な確認作業を終了した。資料数は、英語による書籍・パンフレット類 589 点、同定期刊行物は各巻号を別個に数えると 765 点、デーヴァナーガリー文字による書籍・パンフレット類 970 点、同定期刊行物 294 点であった。データのうち必要部分は、整形の上既に東洋文化研究所図書室に提供した。

予定よりやや早く基礎的な入力作業が終了したため、細かな目次情報等の入力、および、法律文書等著作権上の問題が生じない資料について、スキャニングと pdf 化の作業を開始した。その際、日本ネパール協会資料はサイズの異なる様々な書籍、パンフレット等をまとめてハードカバーで製本してあり、通常のスキャナでは読み取り困難であるものが多数存在するため、そうした形態の資料のスキャンにもかなりの程度対応できる A3 スキャナ、および作業の為のノートパソコン 1 台を購入した。

(3) 公開済の（または予定の）具体的な成果物

現在までに公開済の具体的な成果物は存在しない。入力したデータは FileMakerPro 上では随時検索可能であるが、公開可能なデータベースとしていかなる形に成型していくかは来年度の検討課題である。紙媒体の成果としては、来年度にセンター叢刊での目録刊行を申請する予定である。

また、上記の通り、本プロジェクトによる書誌情報のデータは既に東文研図書室に提供され、図書室によるそれぞれの図書登録のための資料として活用されている。